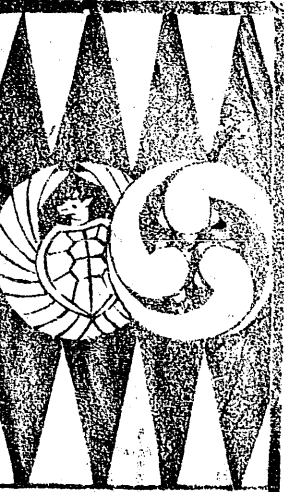


天澤實花集松



四條北側
大芝居二面
歌舞妓
狂言番附

代巻 早稲長天夫
重集天夫
然

天澤實花集松

七册 手本

けいせいのとめ、其の妻壽初め好文學の管下筆

比翼まうり所傳授の序を著し、其の意のり手

味も味も白紙にうせて水煙の景を種たり、信

さけつてもおひ咲中うゝる人たうるぬ天自在

第一 嵐山の遊興の後路の巻唐渡天神

第二 六師村の秋巻の巻ふし巻の巻天神

第三 雫束の巻巻の巻回文も多しといふ天神

第四 揚巻入の巻巻の巻巻の巻天神

第五 洗畑の巻巻の巻巻の巻天神

第六 長柄村の巻巻の巻巻の巻天神

第七 天孫山の巻巻の巻巻の巻天神

第八 大月山の巻巻の巻巻の巻天神

長 瀬出市十郎 狂言化者 金澤芝落

三 竹半侍を夫 狂言化者 金澤芝落

二 竹半侍を夫 狂言化者 金澤芝落

狂言化者 金澤龍玉 狂言化者 金澤芝落

後 若 務り 名 附 別 巻 又 巻 下 巻